

## 月例英国経済概況 (2004年2月)

現状:消費が堅調な推移を続け、製造業の景況も回復へ。  
 10-12月期の実質GDPは、前期比0.9%(同年率3.8%)(図)。  
 産業別の伸びでも、製造業が4四半期連続プラスの見込み。  
 10-12月期には民間投資の伸びもプラスに転じる見込み( )。  
 貿易赤字は、再拡大の兆候( )。ポンド高の影響による対米輸出減の影響が顕現。  
 企業のマインドは大幅に改善。生産は一進一退( )。  
 消費は好調を持続( )。良好な雇用・所得環境( )や住宅市場( )、低金利( )が背景に。  
 ただし、個人向け貸し出しの増勢は鈍化( )。  
 今後:世界経済回復に伴う輸出増加などから、景気拡大が継続の公算。  
 世界経済回復に伴う輸出増加が、企業部門の回復傾向を後押し。景気は緩やかな拡大を持続  
 との見方がコンセンサス( )。  
 ただし、大陸欧州の景気低調により、当面の輸出増加ペースは限定的。  
 物価が低位安定している一方、消費が過熱気味に推移。  
 ポンド高やユーロ高の景気への影響にも要注意。

<p><b>成長率</b> 10-12月期は約4年ぶりの 高成長(速報値、前期比)。</p> <p>(%) 前年比:03/10-12 +2.5% 前期比:03/10-12 +0.9%</p>	<p><b>成長率(内訳)</b> 消費堅調、外需不振。 前向き在庫積み増しか。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">(前期比寄与度: %ポイント)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>03/4-6</th> <th>03/7-9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GDP</td> <td>+0.6%</td> <td>+0.8%</td> </tr> <tr> <td>民間消費</td> <td>+0.5%</td> <td>+0.6%</td> </tr> <tr> <td>民間投資</td> <td>+0.3%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>政府支出</td> <td>+0.0%</td> <td>+0.1%</td> </tr> <tr> <td>在庫投資</td> <td>0.4%</td> <td>+0.3%</td> </tr> <tr> <td>純輸出</td> <td>+0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		(前期比寄与度: %ポイント)			03/4-6	03/7-9	GDP	+0.6%	+0.8%	民間消費	+0.5%	+0.6%	民間投資	+0.3%	0.1%	政府支出	+0.0%	+0.1%	在庫投資	0.4%	+0.3%	純輸出	+0.0%	0.0%	<p><b>純輸出(輸出-輸入)</b> 貿易赤字が再拡大傾向。 米国向け輸出が減少。</p> <p>(百万£) Balance(実績) 3か月平均 11月 3304百万£</p>	<p><b>鉱工業生産</b> 3ヶ月振りに前月比で減少。</p> <p>(%) 前月比:03/11 1.0% 前年比:03/11 0.4%</p>
	(前期比寄与度: %ポイント)																										
	03/4-6	03/7-9																									
GDP	+0.6%	+0.8%																									
民間消費	+0.5%	+0.6%																									
民間投資	+0.3%	0.1%																									
政府支出	+0.0%	+0.1%																									
在庫投資	0.4%	+0.3%																									
純輸出	+0.0%	0.0%																									
<p><b>消費(小売数量)</b> 12月は、家庭用品などを 中心に好調。</p> <p>(%) 前年比:12月 +4.0% 前月比:12月 +0.9%</p>	<p><b>失業率(ILOベース)</b> いぜん歴史的低水準で推移。 若年層の失業率が低下。</p> <p>(%) 09-11月 4.9%</p>	<p><b>賃金上昇率</b> 堅調に推移。 製造業の上昇率が高まる。</p> <p>(%) 前年比:09-11月 +3.5%</p>	<p><b>住宅価格上昇率</b> 伸びがゆっくりと鈍化。</p> <p>(%) 前年比1月 ネーションワイド指数(…) 14.3% ハリファクス指数( ) 15.4%(Dec)</p>																								
<p><b>インフレ率(CPI)</b> 12月のCPIは横ばい推移。</p> <p>(%) 政府目標(2.0%) 前年比:12月 +1.3%</p>	<p><b>政策金利(レポ・レート)</b> 03年11月6日に利上げ実施。 再利上げ観測が高まる。</p> <p>(%) 2月3日現在 3.75%</p>	<p><b>個人向け貸出</b> 住宅ローンの増勢が2ヶ月 連続で鈍化。</p> <p>(%) 前年比:12月 +13.9% *英中銀調べ</p>	<p><b>成長率予測(2003-2004年)</b> 緩やかな景気拡大がコンセンサス。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">2003年(2004年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民間平均</td> <td>2.1%(2.7%) 1/04集計</td> </tr> <tr> <td>OECD</td> <td>1.9%(2.7%) 11/03公表</td> </tr> <tr> <td>IMF</td> <td>1.7%(2.4%) 9/03公表</td> </tr> <tr> <td>欧州委</td> <td>2.0%(2.8%) 10/03公表</td> </tr> <tr> <td>政府</td> <td>2.0% 12/03公表</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(3.0-3.5%)</td> </tr> </tbody> </table>	2003年(2004年)		民間平均	2.1%(2.7%) 1/04集計	OECD	1.9%(2.7%) 11/03公表	IMF	1.7%(2.4%) 9/03公表	欧州委	2.0%(2.8%) 10/03公表	政府	2.0% 12/03公表	(3.0-3.5%)											
2003年(2004年)																											
民間平均	2.1%(2.7%) 1/04集計																										
OECD	1.9%(2.7%) 11/03公表																										
IMF	1.7%(2.4%) 9/03公表																										
欧州委	2.0%(2.8%) 10/03公表																										
政府	2.0% 12/03公表																										
(3.0-3.5%)																											
<p><b>ユーロ/ポンド相場</b> 概ね横ばい推移。</p> <p>(ユーロ/ポンド) 1月平均 1ポンド=約1.441-円 £高 £安</p>	<p><b>ドル/ポンド相場</b> ポンドは11年ぶり高水準で推移。 1月は売り・買い交錯。</p> <p>(ドル/ポンド) 1月平均 1ポンド=約1.83ドル £高 £安</p>	<p><b>円/ポンド相場</b> 190円台で一進一退。</p> <p>(円/ポンド) 1月平均 1ポンド=約194円 £高 £安</p>	<p><b>株価 (FTSE100)</b> 景気好調を映じて堅調に推移。</p> <p>FTSE 100 INDEX as of 2-Feb-2004 2/2/2004 Last4,381 Copyright 2004 Yahoo! Inc. https://finance.yahoo.com/</p>																								